

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2025年12月20日

事業所名: 放課後等デイサービス こぽんはうすさくら新潟中央教室

対象人数(保護者)29人 回答者数 28人 回収 96.6%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2		2		・毎週決まった曜日に整理整頓を行うことでスペースの有効活用に繋げ、お子様の動きに支障のない環境を整えます。 ・環境設定や視覚提示を行い、限られたスペースを上手く活用できるよう工夫を行っています。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	2		2		・お子様の状況や活動内容に応じた人員配置で対応しております。
	③	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1		1	普段活動している様子をじっくり見学したことがまだないので、どちらとも判断がつきかねます。	・ホワイトボードを使用し、スケジュール提示を行ったり、玩具を入れる箱にはわかりやすいように写真を貼る等、視覚提示を行っています。環境設定や職員配置を適切に行い、安全に配慮しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22			2		・チェックリストを作成して、毎日清掃を行っています。 ・遊具の消毒は適宜行い、感染予防に努めます。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
適切な支援の提供	⑤	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1				・有資格者がそれぞれの目線から意見を出し合い、チームでの支援を行っております。引き続き、職員間で連携を取りながら、お子様への対応の共有を行い、支援をさせていただきます。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24					
	⑦	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	24				家庭からの要望や相談に対して、可能な範囲で支援に落とし込んで下さっており、職員内で検討してくださっている事が伝わります。	・今後も、保護者の方とお話をする時間をしっかりと設け、同じ方向を向いて支援を検討していきたいと思います。要望等ありましたら、いつでもお声掛けください。
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1				・放課後等デイサービスガイドラインに基づき、お子様のニーズに合わせた内容を設定し、日々の支援に繋げています。
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1		2		・チームでお子様の対応の共有を行い、支援をさせていただいております。療育のご様子は、ご一報いただければ見学が可能なので、いつでもお問い合わせください。
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1		2	各週ごとにめあてが決まっているのがとてもいいと思います。	・お子様が楽しみながら、成功経験を積める様に活動内容を考えさせていただいている。様々な活動プログラムを工夫して設定していきたいと思います。
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	1	5	9	公園やいくとぴあで遊ぶ機会があり、積極的な交流というわけではないが、他の子供達もいる環境で活動することもできます。	・意図的に機会は設けていませんが、特別活動の際に公共施設等で一緒になる事はあります。今後は、地域のお祭りやイベントにも参加できる機会を作るなど、可能な範囲で交流の機会を設けて参ります。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
保護者への説明等	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24					
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1				・今後も丁寧な説明を行えるように努めていきたいと思います。
	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1	2	4	親子イベントの際に面对面での情報提供や普段活動している環境を実感できました。	・保護者の方にペアレンツトレーニングの内容に関してニーズの聞き取りを行い、次年度からご要望をもとにプログラム実施や、ご家族が参加できる専門職による研修会等を企画いたします。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24					
	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1		1		・HUGシステムを活用し、日々の支援内容を共有できるようにしています。また、必要に応じて個別での面談の機会も設けております。今後も必要に応じてお声がけいただければと思います。
	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24					
	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3	4	5	季節イベントを兄弟参加OKにしてくださっているのは大変有難いです。弟にとつても、放課後デイという場所について学ぶ機会になっていると思います。保護者同士が交流する機会がもう少しあるといいなとは思います。	・保護者の方もご参加いただけるイベントは実施できましたが、父母の会や保護者会等の機会を創出できませんでした。次年度に向け、保護者の方のお仕事やご家庭の状況を考慮しつつ、懇談会や保護者の方同士の交流の場が設けられるように計画、実行して参ります。
	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		2		・ご要望やご意見等は、職員間で共有させていただいている。今後も職員間で連携し、誠実な対応に努めてまいります。
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1				・保護者の方には、お電話やHUGの連絡事項のツールをご活用いただいております。お子様との意思疎通に関しましては、ご様子に応じ、一人ひとりに適したコミュニケーションを図れるよう努めております。
	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23			1		・HUGシステムを活用し行事予定の公開や個別の連絡を行っています。また、療育中のご様子を、ブログやインスタグラムで開示しています。 ・自己評価の結果に関しては、当施設のホームページやHUGシステムにて公開しております
	個人情報の取扱いに十分に留意されていますか。	22	1		1		・個人ファイルに関しては、鍵付きの書庫に保管し、管理しております。今後も鍵付きの棚を使用したり、SNSに写真を投稿する際には個人が特定されないよう配慮するなどし、個人情報の取り扱いに留意してまいりますが、気になる点がありましたら、遠慮なくお声がけください。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ました対応
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1		1		・各マニュアルについては、いつでも閲覧可能です。感染症実務研修、避難訓練、不審者対応訓練など年間計画で行っております。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1		2		・水害、不審者対応、火災、地震を想定した訓練を定期的に行っています。 ・訓練実施の様子はブログやインスタグラムでご確認いただけます。
	㉕	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	2				・療育や送迎業務に関して、マニュアルや安全計画を作成し、各職員が療育の安全を十分に確保したうえで業務にあたっています。 ・事業所の安全計画を所内に設置、掲示します。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			3		・怪我等が発生した場合、速やかに保護者の方へご連絡をし、お子様の状態、今後の対応を速やかにお伝えいたします。 また、全ご利用者様へ周知すべき内容は速やかにHUGシステムの活動記録でお知らせしたり、感染症発生の際は各ご家庭にお電話し状況、対応をお伝えします。
満足度	㉗	子どもは安心感をもつて通所していますか。	24					
	㉘	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	3				・日頃の活動にも期待感を持ち、来所の意欲に繋げられるよう、内容を計画して参ります。今後も、将来の自立に役立つ経験ができる様、活動や課題に工夫をしていきたいと思います。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	24					・今後もお子様に寄り添い、保護者の方、関係機関の方と連携しながら関わさせていただきたいと思います。

公表日 令和7年 12月 20日

事業所名

こばんはうすくら 新潟中央教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・共有する玩具や遊具は取りやすい場所に片付け保管している。 ・基準は満たしている。	・毎週決まった曜日に整理整頓を行うことでスペースの有効活用に繋げていく。 ・環境設定や視覚提示を行い、限られたスペースを上手く活用できるよう工夫していく。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・基準は満たしている。 ・シフト調整で適切に行われている。	・手厚いサポートを必要とする児童の人数で、職員を配置する必要があると感じる。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・ホワイトボードを使用し、視覚提示を行っている。 ・玩具の力ごとに写真を貼っている。	・今後も環境設定や職員配置を適切に行い、安全に配慮していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	・チェックリストを作成して、掃除は毎日行っている。	・フロアマットが劣化してきているため、買い替えが必要。 ・カーペットに洗浄が必要だと感じる。 ・必要に応じて対応していく。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・「ゆっくり部屋」を活用している。	・室数に限りがあるため、職員同士が情報共有をしながら、スペースを有効活用していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・1日の振り返りを毎日行っている。	・週案や業務日報を活用しながら、自分が休みだった日に何があったかを把握し、業務改善を行っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・HUGシステムを利用し、行っている。 ・事業所内のミーティングで評価表の確認をしている。	・今後も評価表の結果を業務改善に反映させていく。 ・引き続き、必要に応じて連絡を取り合うようにしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・毎日の振り返りの中で、子どもの変化や状態についての情報共有はするようにしている。	・面談等を行っているが、業務改善まで行っているとは思えない。 ・イベント前等は、業務が多くなることがあるため、コミュニケーションを取りながら仕事を分担していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	・こばん本部による物は行っている。	・第三者による外部評価を行っているのか把握していない。 ・必要に応じて対応していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・定期的に動画視聴や外部講師を呼び行っている。 ・動画視聴にて様々な事例検討を行ったり、職員が調べた事例を全体に周知したりと学びの場は多く設けられている。	・引き続き、様々な研修の機会を設けていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・HUGを使用し公表している。	・引き続き、意見を出し合いながらプログラムを作成し、HUGを使用し、公表していく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・面談やモニタリングを通して計画を作成している。 ・普段の様子を取り入れたり、子どもに意見も聞きながら計画を作成している。	・引き続き、アセスメントを適切に行い、個々の意見を取り入れながら計画を作成していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・児発管を中心に、専門職や現場の職員で児童の様子を確認し、作成されている。 ・どんな所を支援していくべきか確認しながら作成できている。	・今後もコミュニケーションを取り合いながら情報共有を行い、個々の最善の利益を考慮しながら支援できるようにしていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・共有するようにしている。	・引き続き、個別支援計画に目を通し、計画に沿った支援を行っていく。 ・ミーティングやHUGを使用し、共有する機会を設けていく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・HUGを使用して、記録や経過を確認している。 ・過去の記録も含め、閲覧できるようになっている。	・HUGシステムを活用したり、日々の振り返りの中で子どもの様子の情報共有を行なながら、子どもの適応行動の状況を確認していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、『家族支援』、『移行支援』及び『地域支援・地域連携』のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・子どもの支援に必要な項目が適切に設定されている。	・必要な項目は設定されているため、今後も内容を掘り下げながら、具体的な内容を設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・主はリーダーが立案を行うが、話し合いでながらプログラムを検討している。	・月1回ミーティングの機会を設け、チームで立案できるようにしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・制作でも同じ内容が続かないように工夫している。 ・前日にどのような活動を行ったか確認しながら、週ごとに主な活動内容と目標を定め、日々違う活動を心掛けている。	・今後も週案に記載してある活動内容を確認しながら、様々なプログラムを設定できるよう工夫していく。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・全体会活動に加え、チャレンジタイムや専門職による個別でのレッスンが行われている。	・今後もご家族やご本人の意見を反映させながら計画を作成し、支援していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・リーダーを中心に行われている。 ・誰がどの子にフォローに入るなどの役割分担を行うことができている。	・引き続き、その日のリーダーが中心となり打合せを行い、連携して支援を行っていく。

適切な支援の提供	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・児童の様子や気になる点を共有できている。 ・振り返りを行い、改善すべき点等を明確にしている。	・今後も支援終了後に振り返りの時間を設け、改善すべき点や気になる点を共有していく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・児童の前日の様子から職員間で支援、対応を考えている。 ・サービス記録又は専門的支援の記録を日々行っている事でモニタリングをスムーズに行える。	・今後もHUGシステムを活用しながら、記録をとることを徹底していく。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・モニタリングは定期的に行っている。	・ミーティングの時間などに職員全体でモニタリングの内容を共有できる時間を設けていく。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		・単一になってしまわないように取り組んでいる。	・放課後等デイサービスガイドラインの内容を職員間で確認する機会を設け、日々の支援に反映させていく。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・自分で何をやりたいかを選択して遊んだり、学習を行っている。 ・言葉が出てない児童には○×カードを使用している。 ・誕生日が近い子にはその子が好きな活動を取り入れている。	・言葉での自己選択、自己決定が難しい児童に關しても、生活の場面で○×カードを使用するなどし、自分で「選ぶ」「決める」力が育まれるよう支援していく。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・児発管や専門職が参加している。	・今後も会議の前後に情報を共有し、子どもの状況を職員間で周知できるようにしていく。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・緊急時にはかかりつけのクリニックと連携が取れる体制にある。 ・学校とも連携して支援を行えている。	・今後も関係機関と連携しながら、体制を整えていく。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・月々の予定を教えてもらい、送迎時間の調整をしている。	・今後も適切に連絡調整、情報共有を行っていく。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・個人ファイルに書類を綴じ、いつでも見れるようにしている。	・必要に応じて連携の機会を作っていく。 ・モニタリングの時期等に連絡を取り合い、連携を図っていく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	・対象児童がいない。	・今年度の対象児童(3名)に関しては、適切に関係機関に情報を提供していく。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・外部から講師を招き、研修を受けることができた。	・児童発達支援センターの方と連携を図る機会はありません。 ・今後は必要に応じて連絡を取り合い、助言や研修を受ける機会を設けられるようにしていく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	2	・公園にて少ないながらも多少の関わりはある。 ・女池教室と交流する機会はある。	・女池教室との交流を増やしたり、公園や公共施設利用時に交流できる機会が増えるよう促していく。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	・自立支援協議会が開催した研修には参加することができた。	・参加する機会があれば参加したい。 ・参加の機会があれば、応募をしていく。
	34 曜頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・連絡機能を使って報告や相談等を行っている。 ・必要に応じて面談の機会を設けている。	・引き続き、送迎時や連絡機能を使い、様子を伝えたり必要に応じて面談の機会を設けていく。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・相談員を通し、地域行っている研修の情報を伝える機会があった。	・引き続き、ご家族からのご希望があれば、個別に伝えていく。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に説明を行っている。	・引き続き、丁寧な説明を心掛けていく。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・アクセスメントや面談の機会に、子どもや保護者の意向を確認している。 ・モニタリングの時期に「事業所でやってみたいこと」等子どもの意見を聞くようになっている。	・引き続き、お子様やご家族の意欲を確認しながら、職員間で共有し、作成を行っていく。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・保護者の方にどのような支援を行うか確認してもらいたい、同意を得ている。 ・切り替わりの時期には面談を設けている。	・引き続き、計画を作成した際は面談を行い、安心してご利用いただけるよう説明を行っていく。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・連絡機能で相談に応じたり、適宜面談を行っている。	・今後も保護者の方と信頼関係を構築し、適宜相談に応じたり、必要に応じて面談を行っていく。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	・イベント時に保護者や兄弟姉妹で交流することができている。	・保護者会は行っていない。 ・要望があれば、保護者で集まる機会を作り、意見交換ができるようにしていく。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・朝礼や業務日報を使用して周知を行っている。	・相談や、苦情については真摯に受け止め、、引き続き対応の体制の整備、迅速な対応を心掛けていく。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	5		・インスタグラムやブログを通し、日々の様子を発信している。 ・行事の際は連絡機能を通じて、参加者に個別で連絡を行っている。	・今後もHUGシステムやSNSを活用しながら発信していく。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・問題なく行えている。 ・個人ファイルは鍵付きの棚に保管している。	・今後も鍵付きの棚を使用したり、SNSで写真を投稿する際は個人が特定されないよう配慮するなどし、個人情報の取り扱いに留意していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・各個人に合った関わり方等を工夫し、コミュニケーションを取っている。	・今後も各個人の個性に応じ、適切な意思の疎通や情報伝達ができるよう工夫していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	・情報発信という視点では開かれていると言えるが、直接的に関わる機会は少ない。	・地域交流は行っていない。 ・地域住民を招待する件に関しては、安全面で不安に感じる。 ・事業所内で話し合いながら、地域に開かれた事業運営を図れるよう検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各マニュアルを策定している。 ・適宜避難訓練を行っている。	・契約時だけでなく、要望があればマニュアルを見てもらう機会を作るなどし、ご家族へも周知していく。 ・今後も職員全体で情報を共有しながら、適切に訓練を実施していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・定期的に色々な場面を想定した訓練を行っている。	・全体ミーティング等でBCPの内容について周知し、非常災害の発生に備えていく。 ・適宜訓練を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・どのような服薬を行っているか確認を行っている。	・今後も保護者の方に服薬や予防接種、持病などの情報を提供してもらい、職員間で共有していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・何を食べてはいけないか一覧になっている。	・引き続き、アセスメントや契約時にアレルギーについて聞き取りを行い、適切に対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全管理については、年間計画を立てて計画的に行っている。	・引き続き、安全計画について職員間で周知し、事業所全体で安全管理を徹底していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・契約時に話しをしている。 ・避難訓練の様子をブログやインスタグラムにあげている。	・
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・情報の共有、対策の検討が行いややすい環境となってる ・全社で児童の安全について意識できる。 ・ヒヤリハットを記載しやすく見える所に書き工夫している。 ・朝礼時に全体に向けて共有している。	・引き続きヒヤリハットと再発防止に向けた方策を記載しやすく見える所に書き、事業所全体で共有できるようにしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・定期的に行われている。	・今後も委員会や研修を定期的に行い、適切な対応をしていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・研修等で学んだ上で日々の対応について事前相談や振り返りを行い、決定している。 ・書面に残す形で契約時に保護者に説明、確認している。	・引き続き契約時に話をしたり、放課後等デイサービス計画に記載していく。